

羅針盤			方 策	点検・評価		達成度 総合	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己 評価	外部 アンケ ート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。 ② 「自分の学校が好きだ」と感じている生徒の割合は、80%以上である。	・習熟度別授業、少人数指導を効果的に実施する。 ・各種コンテストや地域イベントに積極的に参加する。 ・工場見学、高大連携事業や専門学科講師派遣事業、インターンシップ等を実施する。 ・授業改善のための校内研修・授業参観等を実施し、授業の質を高める。 ・学校行事を通して帰属意識を育む指導をする。 ・本校卒業生を招いて講話等を実施する。 ・授業で資格取得の必要性を説明する。 ・指導体制を確立し、計画的な指導を実施する。 ・生徒の進路希望に対応した資格取得について指導する。 ・生徒の自発性・自主性を取り入れたテーマを考えさせる。 ・年間の活動計画を立案させ、活動日誌を活用させて計画的に指導する。 ・充実した各科課題研究発表会を行う。	A	A	A	① 学校行事全般、生徒は積極的に参加でき、具体的数値目標を達成することができた。91%の生徒が満足していると回答した。 ② 生徒の87%が自分の学校が好きだと回答した。生徒自身の所属する学科、部活、委員会等、学校行事を通して帰属意識を育むことができた。 ③ 希望受験の資格の設定を多くし、工業関係の資格だけでなく、学校全体で多様な資格取得を目指す生徒が多くなった。うち78%の生徒が1つ以上の資格取得ができている。達成状況がやや低いため、次年度はより積極的に資格取得ができるよう支援を続けていきたい。 ④ 97%の生徒が課題研究に積極的に取り組んでいるという結果が得られた。研究テーマの設定をはじめ、主体的・協働的な学習活動になるよう工夫していく。各科で課題研究発表会も行われ、後輩に向けて発表するほか、保護者も参加できる形をとっている。次年度も今年度同様に生徒の満足度の高い数値と課題研究を中心とした主体的な学びを拡充していきたい。	①② 授業参観、各種学校行事、研究発表会等では、生徒が主体的に活動できている様子が伺えた。 ③ 難関な資格にもチャレンジさせるほか、ジュニアマイスターを目指し、資格指導を継続してほしい。 ④ 研究発表会を見て、生徒が自分で考えている内容がとても良く伝わってきた。
	2 資格取得や検定、総合的な探求の時間(課題研究)などに積極的に取り組んでいますか。	③ 年間を通じて1つ以上の資格取得にチャレンジし、90%以上の生徒が1つ以上の資格を取得している。 ④ 課題研究(課題設定、調査・研究、まとめ、発表等)に主体的に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。	・指導内容を精選し、わかりやすい授業を展開する。 ・教科間の連携を図り、生徒の個性や特徴を踏まえた授業を行う。 ・実習等では班別指導を行い、きめ細かく個別指導を行う。 ・学校生活に目的意識を持たせ、学習活動や資格取得への取り組みを支援する。 ・宿題や課題を定期的に課し、小テストやレポート提出で学習の定着を図る。 ・授業中の生徒指導を充実させ、授業に集中できる環境を整える。	A	A	A	⑤ 90%の生徒が学習指導に満足していると回答した。生徒による授業アンケートのほか、職員研修を複数回実施し、授業改善を図ることができた。 ⑥ 65%の生徒が家庭学習をしていると回答したが、1時間未満が大半を占めているので、各教科において適切な課題を準備すること、家庭学習ができる教材を準備するなど、引き続き課題としたい。 ⑦ 81%の生徒が学力の向上を実感していると回答した。方策に沿って改善を重ねてきた結果、具体的数値目標を達成することができた。	⑤⑥ 授業はICT機器等用いて工夫していると感じる。家庭での学習環境を学校と家庭で協力してつくっていく必要がある。 ⑦ 生徒がしっかりと授業を受けている印象がある。基礎的基本的な知識・技術、社会人としての基礎知識も習得させられると良い。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	・運営委員会や職員会議等で、生徒に関する情報交換といじめに関する情報交換を行う。 ・定期的にいじめアンケートを実施する。 ・面接週間を設定し、生徒一人一人の学校生活で不安なことなど、情報を収集する。 ・毎日の授業の開始、終了時や廊下等で生徒に積極的に声をかけるなど、自然にあいさつができるように働きかける。 ・校内安全点検表を活用し、生徒が環境整備の必要性を意識できるよう、清掃指導時など日頃から支援する。 ・日々の清掃活動を積極的に行える体制をつくる。 ・継続的に面談や支援が行えるよう、関係職員が協力して時間表を作成する。 ・相談や支援を行った際に、相談内容・支援内容を関係職員で共有し、組織的に生徒を支援する体制をつくる。 ・生徒総会において、いじめ防止宣言を行う。 ・情報モラル講習会などにより、生徒がSNSやインターネットの危険性や正しい利用方法などについて学ぶ機会をつくる。 ・生徒会役員による「あいさつ運動」を定期的を実施する。 ・各クラスにおいて、いじめについて考えたり、話し合ったりする機会をつくる。	A	A	A	⑧ 学校全体で情報を共有できるよう各学年、委員会、学科等の会議を実施した。また、いじめに関するアンケートも定期的に実施し問題の早期発見に注力している。 ⑨ 教員間で共通理解をし、指導を継続してきた。あいさつがしっかりとできていると回答した生徒は、97%であった。来客者へのあいさつもしっかりとできていると回答した生徒は「あいさつがよく出来る生徒さんです」とお褒めの言葉をいただく場面も多く、継続的にこの状況を続けられるよう働きかけていきたい。 ⑩ 教員が安全点検をするだけでなく、実習等の授業の中で、安全教育を実施し根本の意識の教育も行っている。 ⑪ 84%の生徒が、学校生活を送りやすいと感じている。スクールカウンセラーだけでなく、教職員にも相談しやすい組織作り、支援体制ができている。 ⑫ 相手に対して思いやりを持つとする生徒は、97%の値を示しておりSNSの発信についても注意喚起を頻繁に行っている。 ⑬ いじめ防止に対する意識は高まっており、85%の生徒がいじめ防止活動に取り組んでいる。 ⑭ 教務と生徒指導、学年・学科との情報を密にし、連続した欠席に迅速に対応し、欠席防止に向けて対応できた。2学期までの欠席率は1年:2.9%、2年:2.2%、3年:2.0%であり、昨年度より減少傾向にある。 ⑮ 生徒の97%が校則や交通ルールを守っていると回答した。保護者の理解もあり生徒の規範意識が着実に身に付きつつある。ヘルメットの着用率についても高まっているが、学校生活以外でもしっかりと着用できるよう指導を続けていきたい。	⑧ さまざまな事情を抱えた生徒がいると聞いている。情報共有をより組織的に進めて欲しい。 ⑨ しっかりと挨拶をしてくれる生徒が多い。 ⑩ 校内の清掃はしっかりと指導を継続してほしい。 ⑪⑫⑬⑭ 現在の方策を継続して欲しい。 ⑮ 伊工生はヘルメットをしっかりと着用していると感じるが、今後も高校生の自転車運転・安全指導をしっかりと継続して欲しい。
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥ 学習内容の定着を図り、家庭での毎日の学習習慣を定着させ、家庭学習に取り組む生徒が70%以上である。 ⑦ 学力の向上を実感している生徒が70%以上である。	・欠席、遅刻、早退の情報を共有し、学年、教育相談係、各科、家庭との連携を図り該当生徒への指導を適宜行う。 ・部活動への積極的な参加を推奨し、学校の活性化や生徒の健康増進に努める。 ・全職員で年間を通して登校時指導を実施し、遅刻の防止を呼びかける。 ・登校時指導、SHR、授業前など身だしなみ指導を継続して行う。 ・年5回の頭髪・服装点検を全職員で実施し、指導を必要とする生徒に対し、家庭と連携をしながら改善指導を行う。 ・生徒の規範意識が向上するよう、保護者と協力してマナーアップ運動を実施する。 ・ルールを遵守することの大切さを理解し自分事として考え、生徒が主体となって校則等の検討・見直しを行えるよう支援する。	B	B	B	①② 生徒の進路希望に合わせた進路ガイダンスを全学年において複数回実施した。進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒は78%である。 ③ 方策に沿って進路に関する情報を提供できた。進路に関する配布物に関しては74%の保護者が目を通していると回答した。 ④ 進路指導部、学年・各科との連携を強化し、多様化する生徒への指導を行った。各科でも社会人講師を呼んでの講演や、インターンシップを大半の生徒が経験している。進路実現に向けて84%の生徒が積極的に取り組んでいると回答した。 ⑤ 各種適性検査・面談などを通じて、多くの生徒が自己の適性を理解できている。自己の適正については、77%の生徒が理解していると回答した。また、2年生全員を対象に3日間インターンシップを実施することができた。	①② 進路指導について、中学校の進路指導の先生や中学生の親御さんに高卒就職のメリットをしっかりと伝えてもらいたい。上級学校(大学)を目指した指導もして欲しい。 ③④ インターンシップを2学年全員で行ったのは良い。積極的に進めて欲しい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧ 全校生徒の情報を共有する機会を毎月1回以上つくり、いじめ防止対策委員会を毎月1回以上行っている。 ⑨ 職員、来校者等にあいさつのできる生徒が80%以上である。 ⑩ 月1回以上、校内の安全点検を実施し、環境の整備に努めている。生徒は校内の清掃活動に毎日取り組んでいる。 ⑪ 継続的な相談や支援を行うことで、学校生活を送りやすくなっていると感じる生徒が80%以上である。	・常に最新の情報を公開できるようにする。 ・学校行事や部活動の情報を積極的に公開する。 ・オープンスクールを見学型、体験型の2回実施する。 ・7月に伊工フェアをマーク伊勢崎で実施する。 ・新聞や市の広報誌への情報提供、地域のイベントや外部のコンテストまたは大会へ積極的に参加する。 ・10月に一週間、保護者への授業公開を実施する。 ・学年別懇談会を実施する。	A	A	A	②③ ホームページ、公式instagramでは目標を上回る更新をし、特に公式instagramは月平均20回以上の更新をするなど、積極的に本校の情報発信ができた。 ④ 地域活動にも積極的に協力し、伊工フェアだけでなく各種地域イベント等に参加しながら広報活動を行うことができた。 ⑤ ホームページ、公式instagram等で85%の保護者が学校の様子が分かると回答した。	②③④ instagramだけでなく、伊工フェアなど、とても生徒たちのやる気を感じた。今後も方策を継続して欲しい。
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑫ いじめ防止を理解している生徒が70%以上である。 ⑬ いじめ防止活動に取り組んでいる生徒が70%以上である。	・職員は、情報化推進委員会を中心に校内研修・研究授業等でICTの効果的な活用方法を学ぶ。 ・学習用端末を組織的に授業に活用する。 ・学校からの通知、アンケートのペーパーレス化を図るとともに、アンケートへの回答率を高める。	A	A	A	②③ 92%の生徒がICTを活用した授業に満足している。 ④ スマート連絡帳などのDXツールを使用しペーパーレス化を推進している。今後もICT化を推進しパフォーマンスが上がる取り組みをする。	②③ 生徒の発表にもICT機器を有効活用できていた。継続してほしい。 ④ さらなる取り組みを期待している。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑬ 進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が、70%以上である。 ⑭ 学校からの進路に関する配布物に目を通している保護者が70%以上である。	・「自己の生き方」と「将来の職業」について考えさせ、進路選択の方法や進路実現のために準備すべき事を考えさせる。 ・SPI対策テスト、基礎力診断テスト、クレペリン検査を実施する。 ・インターンシップを積極的に進め、勤労観や職業観を育成する。	A	A	A	①② 進路指導部、学年・各科との連携を強化し、多様化する生徒への指導を行った。各科でも社会人講師を呼んでの講演や、インターンシップを大半の生徒が経験している。進路実現に向けて84%の生徒が積極的に取り組んでいると回答した。 ③ 各種適性検査・面談などを通じて、多くの生徒が自己の適性を理解できている。自己の適正については、77%の生徒が理解していると回答した。また、2年生全員を対象に3日間インターンシップを実施することができた。	①② 進路指導部、学年・各科との連携を強化し、多様化する生徒への指導を行った。各科でも社会人講師を呼んでの講演や、インターンシップを大半の生徒が経験している。進路実現に向けて84%の生徒が積極的に取り組んでいると回答した。 ③ 各種適性検査・面談などを通じて、多くの生徒が自己の適性を理解できている。自己の適正については、77%の生徒が理解していると回答した。また、2年生全員を対象に3日間インターンシップを実施することができた。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭ 進路実現に積極的に取り組む生徒が70%以上である。 ⑮ 自分の適性を理解している生徒が80%以上である。	・「自己の生き方」と「将来の職業」について考えさせ、進路選択の方法や進路実現のために準備すべき事を考えさせる。 ・SPI対策テスト、基礎力診断テスト、クレペリン検査を実施する。 ・インターンシップを積極的に進め、勤労観や職業観を育成する。	A	A	A	②③ ホームページ、公式instagram等で85%の保護者が学校の様子が分かると回答した。	②③④ instagramだけでなく、伊工フェアなど、とても生徒たちのやる気を感じた。今後も方策を継続して欲しい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校のホームページを月5回以上、公式instagramを月に10回以上更新する。 ⑳ 各工業科の特色を生かした取り組み、地域の小・中学校に対する広報活動、新聞を活用した広報活動を10回以上行う。 ㉑ 「学校の様子がよく分かる」と、保護者の70%以上が答えている。	・職員は、情報化推進委員会を中心に校内研修・研究授業等でICTの効果的な活用方法を学ぶ。 ・学習用端末を組織的に授業に活用する。 ・学校からの通知、アンケートのペーパーレス化を図るとともに、アンケートへの回答率を高める。	A	A	A	②③ 92%の生徒がICTを活用した授業に満足している。 ④ スマート連絡帳などのDXツールを使用しペーパーレス化を推進している。今後もICT化を推進しパフォーマンスが上がる取り組みをする。	②③ 生徒の発表にもICT機器を有効活用できていた。継続してほしい。 ④ さらなる取り組みを期待している。
	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲ ICTを活用した授業ができると答えた職員が70%以上である。	・職員は、情報化推進委員会を中心に校内研修・研究授業等でICTの効果的な活用方法を学ぶ。 ・学習用端末を組織的に授業に活用する。 ・学校からの通知、アンケートのペーパーレス化を図るとともに、アンケートへの回答率を高める。	A	A	A	②③ 92%の生徒がICTを活用した授業に満足している。 ④ スマート連絡帳などのDXツールを使用しペーパーレス化を推進している。今後もICT化を推進しパフォーマンスが上がる取り組みをする。	②③ 生徒の発表にもICT機器を有効活用できていた。継続してほしい。 ④ さらなる取り組みを期待している。
VI 教育デジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑲ ICTを活用した通知に生徒・保護者の70%以上が満足している。	・職員は、情報化推進委員会を中心に校内研修・研究授業等でICTの効果的な活用方法を学ぶ。 ・学習用端末を組織的に授業に活用する。 ・学校からの通知、アンケートのペーパーレス化を図るとともに、アンケートへの回答率を高める。	A	A	A	②③ 92%の生徒がICTを活用した授業に満足している。 ④ スマート連絡帳などのDXツールを使用しペーパーレス化を推進している。今後もICT化を推進しパフォーマンスが上がる取り組みをする。	②③ 生徒の発表にもICT機器を有効活用できていた。継続してほしい。 ④ さらなる取り組みを期待している。